

藤沢
税務署長
賞

茅ヶ崎市立中島中学校 3学年 穴戸 莉央

納税が与えてくれるもの

義務教育を受ける私たち小中学生は、国から無償で教科書などの教材を貰い受けています。新学期が始まり、教材が手元に配られる時に「皆さんに配布したこの教科書は、国が君たちに無料で用意してくれた物なので、感謝を忘れず大切に使ってください。」と先生が言っていたのを覚えています。どうして全国に沢山いる小中学生1人1人に教材を行き渡らせることができるのだろうと疑問に思いました。教科書の裏を見てみるとそこには「これからの日本を担う皆さんへの期待を含め、税金によって無償で供給されています。」と書かれていました。

税と聞かれ、小中学生が想像するのは消費税です。消費税は物やサービスを購入する時にその値段に上乘せされるお金のことです。消費税はずっと身近にあり、払うものとして当たり前がありました。そういう意味では私たち小中学生も大人と同じように納税者であり、1人1人から集められるお金が莫大な金額となり、それが公共の施設や福祉、医療、災害で住む家や仕事を失ってしまった人たちなど、他にも沢山のことに税は充てられます。重い病で高い医療費を払わなければならなくなった時、個人では到底用意できないようなお金を私たちが納めている税で医療を受けられるようになる。つまり、自分たちが納めている税が巡り巡って自分や困っている誰かの為に使われ、私たちが安心して暮らせる世の中を自分を含め1人1人が実現していること、

税は私たちの暮らしを豊かにしてくれるありがたいものだと思います。

さらに、「世界一幸せな国」と呼ばれるデンマークでは、消費税が25%と世界でもかなり税率の高い国です。高い税を払っているのに何故世界一幸せな国と呼ばれるのか、1つの理由として挙げられるのは、デンマークでは「子供は社会が育てる」という価値観が根付いているからです。子供は将来、社会を支える存在になるという考えから、出産にかかる費用が無料、大学院まで学費が無料、すべての医療が無料、待機児童がゼロなど、次世代を担う子供たち、国を支えていく子供たちへの教育に投資することで、貧困率を低くおさえ、国の安心安全も保障し、「世界一幸せな国」を実現させたのです。税は国の明るい未来への投資だと考えます。

少子高齢化が進む日本がこれからの未来を考えた時、どうしても若い人や子供たちへの負担が大きくなっていくことでしょう。私たちが義務教育を終えた暁には、働いてお金を稼いだり、学費を払ったりと大人と同じように税を納める人「納税者」になります。

今まで、私たちに期待を含め税で支えてくれたことに感謝の気持ちを忘れず、次は私たちが次世代を担う子供たちの教育や国の豊かな暮らしを守るために、次は支える側の立派な人間になれるように、税についてもっと理解を深めたいと思います。

藤沢
税務署長
賞

茅ヶ崎市立中島中学校 3学年 中林 千夏

十万元で助けられた店

私の祖母は、たった1人でカラオケ喫茶を経営しています。私の祖母は、歌が大好きで店を開いたそうです。小さい頃の私は、店で歌を歌ったり、店の常連さんに可愛がってもらっていました。だから、祖母の店は、思い入れが深く、「ずっと経営し続けてほしい」と思っていました。

2019年12月、未知のウイルスがまたたく間に世界を襲いました。緊急事態宣言の発令により飲食店は休業や時短営業を余儀なくされ、祖母も店を1か月程度閉める決断をしました。大好きな歌から一度距離を置くことを決めた祖母は少し悲しそうな声で「すぐ元どおりになるから」と言いました。

しかし、未知のウイルスはとどまることを知らず、さらに多くの人々が苦しめられ、亡くなってしまふ人もいました。そのため緊急事態宣言の延長が決まり、予定の1か月を超える休業をせざるを得なくなりました。仕事を休んでいるので収入はゼロ。祖母は今までの貯金と祖父の収入、年金で生活をしていました。

しかし、店を続けるためには大きなお金が必要になります。祖母は諦めて店を手放そうと考えていまし

た。そんな中、国からの給付金の話がテレビで放送され、対象となる祖母は給付金をもらいました。

緊急事態宣言が解除され、祖母は借金をしながらも給付金を少しの足しにして店を開ける決意をしました。祖母はとても嬉しそうでした。祖母は「10万円は店を運営するためには少ないお金だけれど、10万円がなかったら店を開ける勇気を持てなかったと思う。ありがたい。」と涙ながらに言いました。

私の祖母は、年金と給付金に助けられ、生活すること、店を再び営業することができました。

「税金」と聞くと自分の所得が減ったり、消費税の値上げなど悪いイメージを持っているかもしれません。しかし、私の祖母のように「税金」によって助けられる人もいます。一部の人だけが助けられている訳ではなく、現在多くの人々が関心を持っているワクチンは皆が平等に受けることができます。「税金」により皆が助けられているのです。

「税金」に悪いイメージばかり持つのではなく、自分の将来の貯金だと考えてみませんか。自分の将来を助けてくれる「貯金」に悪い気はしないはずです。